

各 位

会 社 名 美濃窯業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 太田 滋俊  
(コード：5356 名証メイン市場)  
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 管理本部長  
兼 総務人事部長 長谷川 郁夫  
(TEL：052-551-9221)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表した2024年3月期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

## (1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 15,000	百万円 1,300	百万円 1,350	百万円 950	円 銭 92.68
今 回 修 正 予 想 ( B )	14,000	1,200	1,300	950	92.66
増 減 額 ( B - A )	△1,000	△100	△50	—	—
増 減 率 ( % )	△6.7	△7.7	△3.7	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	14,609	1,394	1,528	1,072	104.59

## (2) 修正の理由

2024年3月期につきましては、耐火物事業は主力のセメント向け耐火物が人手不足や資材高騰を受けた各建設現場の遅れにより、セメントの生産量が前年同月比18か月連続で減少したことで売上は減少を見込む一方、原燃料価格の高騰に伴う価格改定が受け入れられてきた他、市場シェアの拡大並びに新市場開拓に取り組み、更に設備改善や生産性の向上により利益水準は向上する見込みです。

プラント事業は工事部門が新設やメンテナンス案件の獲得により順調に推移しているものの、半導体市況の悪化に伴う、顧客の設備投資計画の後ろ倒しの影響により設備部門の売上が落ち、セグメント全体でも、売上及び利益水準は下がる見込みです。

建材及び舗装用材事業は主要顧客である鉄道や道路等のインフラ産業のコロナ禍からの正常化に伴い、業績が上向き、設備投資が再開されたことや原燃料価格の高騰に対応した価格改定が浸透したことで売上、利益共に前年度を上回る見通しです。

また、第4四半期連結会計期間に経営資源の効率化及び最適配分を図るために一部の投資有価証券の売却をし、投資有価証券売却益を見込んでおります。

以上の結果から、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を下回るものの、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想通りの見通しとなりました。

## 【業績予想に関する注意】

上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の種々の要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上